

※既に文書にて同意を取得済の研究対象者の皆様に、研究計画の変更についての情報公開行っています。

研究課題名	レミゾラム麻酔下での交感神経応答誘発閾値を用いたオピオイド感受性の測定
研究期間	実施許可日 ~ 2027年3月31日
研究の対象	本研究(E2022-0198)において、既に文書にて同意いただいた研究対象者の皆様。
研究の目的・方法	<p>研究目的：</p> <p>我々の研究グループが以前に行った研究では、オピオイドを投与した患者さんの皮膚へ電気刺激を与えた時、電流に対する血管収縮反応に個人差があることを確認しました。そして、その反応が生じる電流値の大きさが鎮痛薬の感受性の指標となりうるということが分かりました。これは、以前の研究で、プロポフォールという麻酔薬を用いた条件での結果です。そのため、他の麻酔条件でもその数値が指標となるのかについてはさらなる検証が必要であり、この研究を計画しました。</p> <p>研究の方法：</p> <p>手術が始まる前に本研究の測定を行います。測定では、手首に電気刺激を行い、血管収縮反応が生じる電流値を測定します。研究の詳細につきましては、同意取得時にお渡しした説明文書にてご確認ください。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	データ解析に際しては、性別、生年月日、身長、体重などの情報を電子カルテから取得します。また、心電図、血圧などの波形を生体情報モニターから取得します。加えて、パルスオキシメーターという血液の酸素の量を測る機械の波形は別にクリップを指につけて測定しますので、その波形を記録します。
外部への試料・情報の提供	この研究は広島大学単独で実施する研究のため外部への試料・情報の提供は行いません。
利用または提供を開始する予定日	本学における実施許可日(2023年2月2日)以降。
個人情報の保護	試料・情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。
研究組織	<p>本学の研究責任者</p> <p>広島大学大学院医系科学研究科麻酔蘇生学</p> <p>准教授 佐伯 昇</p>
その他	※本研究に参加いただくにあたり、既に文書にて同意を取得済の研究

※既に文書にて同意を取得済の研究対象者の皆様に、研究計画の変更についての情報公開行っています。

	<p>究対象者の皆様、研究計画が変更された内容についての情報公開を行っています。</p> <p>【変更内容】研究者の変更、評価項目の変更</p>
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>広島大学大学院医系科学研究科麻酔蘇生学 准教授 佐伯 昇 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 Tel 082-257-5267 Fax 082-257-5269</p>